【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【公表番号】特表2012-526018(P2012-526018A)
【公表日】平成24年10月25日(2012.10.25)
【年通号数】公開・登録公報2012-044
【出願番号】特願2012-508857(P2012-508857)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｂ　11/02　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　71/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｂ　11/02
Ｂ６５Ｄ　71/02　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月7日(2013.5.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
物体を巻くためのラッピング材を切り出すためのラッピング装置であって、前記装置が、前記物体のラッピング中、１つの位置から別の位置へ前記装置を動かすことができる１又はそれ以上の可動要素を有するベースと、前記ベースから延在する少なくとも１のフレーム部材を含むフレーム構造と、前記フレーム部材の上、又は前記フレーム部材に取り付けられラッピング材の供給を支持するための切り出し可動台であって、前記物体をラップするために、前記ラッピング材が、前記切り出し可動台から切り出される前記位置を変えるために、前記フレーム部材に関して可動である切り出し可動台と、１つの位置から別の位置に動くとき、前記ラッピング装置を制御する動きをアシストするためにラップされる前記物体の一部と接触させるために、前記ベースに接続されるガイド要素とを具え、当該ガイド要素が前記物体の一部と接触するとき、前記ラッピング装置は、前記ラッピング材が前記物体にかけられて引っ張られることが可能となり、これにより前記物体をラップするために前記物体の周りに動くことが可能となることを特徴とするラッピング装置。
【請求項２】
ラッピング装置を用いて物品をラッピングする方法であって、前記ラッピング装置のフレームワーク部材上に取り付けられる切り出し可動台上にラッピング材を配置するステップと、前記ラッピング部材の一部を前記物体に取り付けるステップと、前記ラッピング装置の一部に取り付けられるガイド要素が、前記物体をラップするために、ラッピング材を前記切り出し可動台から切り出すことが可能となるよう前記物体と接触するように、前記ガイド要素を有するラッピング装置を、前記物体に関して動かすステップとを具え、前記ガイド要素が前記物品に接触した状態で前記ラッピング装置が前記物体周りに動くことにより、前記ラッピング材が前記物体にかけられて引っ張られることが可能となり、これにより前記物体のラッピングが可能となることを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項１または２によるラッピング装置又は方法において、前記ベースの可動要素が、１又はそれ以上の車輪、ローラ、スキッド、又は前記ラッピング装置の支持面上での動きを可能とする他の要素であることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項４】
請求項３によるラッピング装置又は方法において、前記可動要素が、前記ベースに接続される４つの車輪、好適には前記ベースの下面から外側に延在する４つのキャスタ車輪を含み、前記ラッピング装置の前記ガイド要素周りの動きを可能とすることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項５】
請求項１乃至４のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ベースが、少なくとも１の支持部材を含み、前記支持部材が、一般に湾曲し、互いに関して配置される複数の別個の部分を有し、効果的な構造を形成するために、２つの角度をなす部分で交互に配置される実質的に互いに平行な関係で整列される３つの部分を含むことを特徴とする装置又は方法。
【請求項６】
請求項５によるラッピング切り出し装置又は方法において、平行な部分の１つ目は、互いに反対方向に広がる角度をなす２つの部分の中央に位置する中央部分であり、他の２つの平行な部分は各端部であり、キャスタ車輪が、前記ラッピング装置を支持するために２つの端部の各々に旋回的に接続されることを特徴とする装置又は方法。
【請求項７】
請求項６によるラッピッング装置又は方法において、前記フレーム部材またはその１が、前記２つの平行に整列した端部のレベルより低いレベルに配置される前記ベース支持部材の中央部から延在することを特徴とする装置又は方法。
【請求項８】
請求項１乃至７のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ベースから延在する３つのフレームワーク部材があり、前記フレームワーク部材の２つが、前記ベースの一方の側又は端部に沿って互いにスペースを空けた関係で配置され、単一のフレームワーク部材が、前記ベースの他方の端部又は側に沿って配置されることを特徴とする装置又は方法。
【請求項９】
請求項８によるラッピング装置又は方法において、前記切り出し可動台が、前記ベースの支持部材の中央のくぼみ部分から延在する前記単一のフレーム部材に取り付けられることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項１０】
請求項１乃至９のいずれかによるラッピング装置又は方法がさらに、使用時、前記ラッピング装置の動きの制御及び操作可能な機能を実行するための制御インターフェイスを含み、前記物体を接触させる前記ラッピング装置の操作を含むことを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項１１】
請求項１０によるラッピング装置又は方法において、前記制御インターフェイスが、使用中、前記ラッピング装置の動きを制御するための前記切り出し可動台上に取り付けられる固定された制御部材であり、前記ラッピング装置に張りを与えるための動きを含むことを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項１２】
請求項１乃至１１のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ガイド要素が、前記ラッピング装置のベースの一隅部、側部又は端部に配置され、若しくは一隅部、側部又は端部に向かって配置されることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項１３】
請求項１２によるラッピング装置又は方法において、前記ガイド要素が、前記ベースから外側に延在するように、好適には、前記湾曲した支持部材の縦に延在する方向に角度を形成して傾けられるように、前記ベースの湾曲した支持部材の端部に接続されることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項１４】

請求項１乃至１３のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ラッピング材が、前記物体にかけられ、及び／又は、引っ張られるように用いられるとき、通常の移動方向に関して、前記ベースの正面又は前側な左隅部に取り付けられることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項１５】

請求項１乃至１４のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ガイド要素が、ガイドホイール、ガイドローラ、ガイドスキッド、ガイドレール、バッファレール、湾曲した、又は弓形のバッファレール、又は、前記物体のラッピング中に、前記物体の表面に沿って、又はその上で動作するための類似物であることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項１６】

請求項１乃至１５のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記物体のラッピング中、前記ガイド要素が、前記ラッピング材に張りを与えることを実現する支柱（fulcrum）として機能するように、前記物体と接触したままであることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項１７】

請求項１乃至１６のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ラッピング装置の旋回する動きのため、ラッピング材を前記物体にかけ、かつ張りを前記ラッピング材に与えるために、前記物体に対して、前記ラッピング装置の位置を変えるように、前記ラッピング装置が前記物体の周りを旋回することを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項１８】

請求項１７による切り出し装置又は方法において、前記ラッピング装置が、前記ラッピング材に張りを与えるべく、前記ラッピング材に、てこの作用を与える前記ラッピング装置を実現するために、前記ガイド要素周りを旋回するとき、前記ガイド要素が前記物体に関して動くことを特徴とする切り出し装置又は方法。

【請求項１９】

請求項１６及び１８のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記固定された主制御部材が、前記主制御ハンドル内に好適に配置される前記主制御部材と近接して配置される第２の制御部材を付随することを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項２０】

請求項１９によるラッピング装置又は方法において、前記主制御ハンドルが、一方の位置から他方の位置へと前記ラッピング切り出し装置を操作する際に用いる、前記切り出し可動台の上面に、又は上面に向かって配置される上部制御ハンドルであることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項２１】

請求項１９又２０によるラッピング装置又は方法において、前記第２の制御部材が、前記切り出し可動台から切り出される前記ラッピング材の供給に減速力を与えるための上部ブレーキハンドルであることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項２２】

請求項１乃至２１のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ラッピング材の供給が、前記切り出し可動台上で動作すべく取り付けられたラッピングフィルムのロールであることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項２３】

請求項２２によるラッピング装置又は方法において、前記フィルムが、ストレッチフィルムであり、前記フィルムのロールが、任意の角度で前記切り出し可動台に、好適には、実質的に縦に取り付けられることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項２４】

請求項１９乃至２３に記載のラッピング装置又は方法において、前記第２の制御部材が、前記ラッピング材の供給の下方端部との係合のために、前記切り出し可動台の下方部分に、又は下方部分に向かって配置される下方ブレーキハンドルであることを特徴とするラ

ッピング装置又は方法。
【請求項２５】
請求項１乃至２４のいずれかによるラッピング装置又は方法がさらに、前記物品にかけられるラッピング材の供給の高さを調整するために、前記フレーム部材に関して、前記切り出し可動台の高さを制御するための高さ制御部材を具えることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項２６】
請求項２５によるラッピング装置又は方法において、前記高さ制御部材が、前記物体にかけられるラッピング材の位置に応じて、前記切り出し可動台を予め選択された高さに保持するために、前記ベースの同じ側から延在する前記２つの間隔が開いたフレーム部材と共同的に相互作用するように取り付けられることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項２７】
請求項１乃至２６のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記物体が、結合した積荷を形成するためにラッピングを必要とする複数の別個の物体であり、前記別個の物体が、前記ラッピング材を回転させることにより一緒に縛られることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項２８】
請求項１乃至２７のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記物体が、重ねた関係で配置されるか、あるいは地上又は床又は同様の面上に直接配置される積荷であることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項２９】
請求項２３乃至２８のいずれかによる装置又は方法がさらに、前記ラップフィルムのロールから前記ラップフィルムの切り出しを制御するための第２のローラを具えることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３０】
請求項１乃至２９のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記切り出し可動台に、切断用の可動カッタが設けられ、前記物体にかけられる前記ラッピング材から前記ロールに残るラッピング材を分離するために、前記ラッピング材を切断又は分離することを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３１】
請求項２９乃至３０によるラッピング装置又は方法において、前記切り出し可動台がさらに、前記切り出し可動台に前記ラッピング材の切断端部を保持するための切り出し可動台ローラと接触片とを含み、前記ラッピング材の保持された端部が、前記ラッピング材を前記物体に取付又は固定するために、前記切り出し可動台から捕まれ、かつ引き出されるのに十分であることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３２】
請求項１乃至３１のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ガイド要素が、実質的に縦の回転軸を有し前記ベースの前方左に取り付けられる水平に配置された回転可能な軟質ガイドローラであることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３３】
請求項１乃至３２のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ラッピング装置が配置される地面又は床上に位置する場合に、前記ガイド要素が、前記物体の側部と接触可能となるような高さに配置されることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３４】
請求項１乃至３３のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記第２の制御ハンドルがさらにブレーキ突起部とブレーキレバーハンドルとを具え、前記ロールの動きを遅らせるために、前記ブレーキレバーハンドルの動きが、前記ラッピング材のロールの中央芯の内側面に当接する前記ブレーキ突起部の対応する動きを生じさせることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項３５】

請求項１乃至３４のいずれかによるラッピング装置又は方法において、前記ラッピング装置が約９０度まで前記ガイド要素の周りを旋回し、これにより前記ラッピング装置が前記物体の第２の側面に沿って移動可能となり、これが前記ラッピング材を、前記物体の第１の側面に沿って前記物体を接触させることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項３６】

請求項１乃至３５のいずれかによるラッピング装置又は方法がさらに、前記切り出し可動台の前記ロールブレーキが前記ラッピング材が繰り出されるのを停止させるよう作動した状態で、前記物体と接触するように前記ガイド要素周りに前記切り出し装置を旋回させるステップを具え、これにより前記装置が前記物体から離れて旋回するのに伴い、前記装置の切り出し可動台と、巻かれる前記物体に接触した前記ラッピング材とが最終点との間の前記ラッピング材を伸ばすために張りを与えることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項３７】

請求項１乃至３６のいずれかによるラッピング装置又は方法がさらに、カッタ刃を具え、前記カッタ刃が２つのロッドビレット間に取り付けられ、これらの一方は、スロット付カッタ管の外側にあり、これらの他方は、前記スロット付カッタ管の内側に配置され、双方のビレットが、カッタ移動インターフェイスにより前記スロットに沿って引かれると、前記カッタ管のスロットに沿って通過し、かつ進む前記カッタ刃に接続されることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項３８】

請求項１乃至３７のいずれかによるラッピング装置又は方法がさらに、前記切り出し可動台の位置を選択的に調整するための少なくとも１の高さ調節部材を具え、前記高さ調整部材が、前記ベースから延在する少なくとも１のフレームワーク部材と協力的に付随し、前記高さ調整部材が、選択された高さで、前記切り出し可動台の高さを維持するための固定位置と、前記切り出し可動台の動きを調整可能とする解放位置との間で可動であることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項３９】

請求項３８によるラッピング装置又は方法において、前記高さ調整部材が、開口と本体部分から外側に延在するハンドルとを有する本体部分を具え、前記高さ調整部材が前記フレームワーク部材に配置され、前記ハンドルの動きが、前記高さ調整部材を前記固定位置と前記解放位置との間に動かすとき、前記フレームワーク部材が、前記開口を通して受けられることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項４０】

請求項３９によるラッピング装置又は方法において、前記高さ調整部材が、前記本体部分から延在する少なくとも１のチャネル要素を含み、好適には、２つのチャネル要素が、前記本体部分の何れか一方の側から延在することを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項４１】

請求項４０によるラッピング装置又は方法において、前記高さ調整部材の本体の何れか一方から延在する前記チャネル要素が、実質的に互いに平行に延在するよう配置される面取り部分の方向と反対の方向に延在するよう配置される１対の面取りされたチャネルであり、前記面取りされたチャネルは、前記フレーム部材周りの旋回の動きが可能であり、固定位置において、前記チャネル部材が前記フレームワーク部材と係合し、解放位置において、前記チャネル部材が前記フレームワーク部材から離れることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項４２】

請求項４０又は４１のいずれかによるラッピング装置又は方法において、各チャネル要素には、長い側と、開口側と、２つの対向する面取りされた側とが設けられており、前記長い側は、前記フレームワーク部材の縦に延在する方向に前記フレームワーク部材を接触させ、前記開口側は、前記高さ制御部材を前記本体に提供された開口周りに旋回可能とすることを特徴とするラッピング装置又は方法。

【請求項４３】
請求項４２によるラッピング装置又は方法において、前記高さ調整部材が固定位置にあるとき、前記開口したチャネル要素の長い側が、前記切り出し可動台の動きを防ぐために、前記フレームワーク部材と接触するように前記フレームワーク部材の側面に実質的に平行に延在するよう配置され、前記高さ調整部材が解放位置にあるとき、前記開口したチャネルの長い側が、前記フレームワーク部材の縦に延在する側から離れて、かつ角度をもって傾き、これにより前記切り出し可動台の高さを調節するために、前記フレームワーム部材の縦に延在する方向に、前記高さ調整部材の摺動が可能となることを特徴とするラッピング装置又は方法。
【請求項４４】
請求項３８乃至４３によるラッピング装置又は方法において、前記高さ調整部材が、２つの斜めに対向する四分円の最初の対で旋回するのに自由であるが、斜めに対向する四分円の２番目の対での動きが制限され、前記四分円の最初の対が、前記四分円の２番目の対と異なることを特徴とするラッピング装置又は方法。